

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2021年12月28日まで（2016年12月29日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンドの投資信託証券への投資を通じて、円建ての短期金融資産（預金含む）へ90%程度の投資を行うほか、スワップ取引により、株式・債券等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>各資産への実質的な投資割合は、1万口あたりの基準価額（支払済みの分配金累計額は加算しません。以下同じ。）の下落を一定水準（以下「フロア水準」といいます。）までに抑えることをめざしながら、経済環境や市況動向等を勘案して、決定されます。フロア水準は当初9,000円とし、その後は設定来の基準価額の最高値から90%の水準とします。</p> <p>基準価額がフロア水準以下となった場合には、短期金融資産による安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p>	
主要運用対象	スマート・プロテクター90（限定追加型）2016-12	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンド投資信託証券、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を主要投資対象とします。
	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンド	スワップ取引を通じて、日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行います。また、円建ての短期金融資産（預金含む）にも投資を行います。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

スマート・プロテクター90 （限定追加型）2016-12

信託終了日：2021年12月28日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「スマート・プロテクター90（限定追加型）2016-12」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債券組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金	達配	み騰落				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円	
(設定日) 2016年12月29日	10,000	—	—	—	—	—	6,431	
1期(2017年12月28日)	10,235	0	2.4	—	—	95.1	7,921	
2期(2018年12月28日)	9,671	0	△5.5	—	—	98.0	6,513	
3期(2019年12月30日)	9,804	0	1.4	—	—	95.2	6,129	
4期(2020年12月28日)	9,697	0	△1.1	—	—	96.2	5,311	
(償還時)	(償還価額)							
5期(2021年12月28日)	9,576.38	—	△1.2	—	—	—	3,776	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			%	%	%
(期 首) 2020年12月28日	円 銭 9,697	% —	% —	% —	% 96.2
12月末	9,697	0.0	—	—	96.2
2021年1月末	9,732	0.4	—	—	98.5
2月末	9,637	△0.6	—	—	98.5
3月末	9,631	△0.7	—	—	98.0
4月末	9,670	△0.3	—	—	98.3
5月末	9,647	△0.5	—	—	98.3
6月末	9,672	△0.3	—	—	98.0
7月末	9,669	△0.3	—	—	98.0
8月末	9,668	△0.3	—	—	98.8
9月末	9,629	△0.7	—	—	98.0
10月末	9,632	△0.7	—	—	98.1
11月末	9,576	△1.2	—	—	98.0
(償還時) 2021年12月28日	(償還価額) 9,576.38	△1.2	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

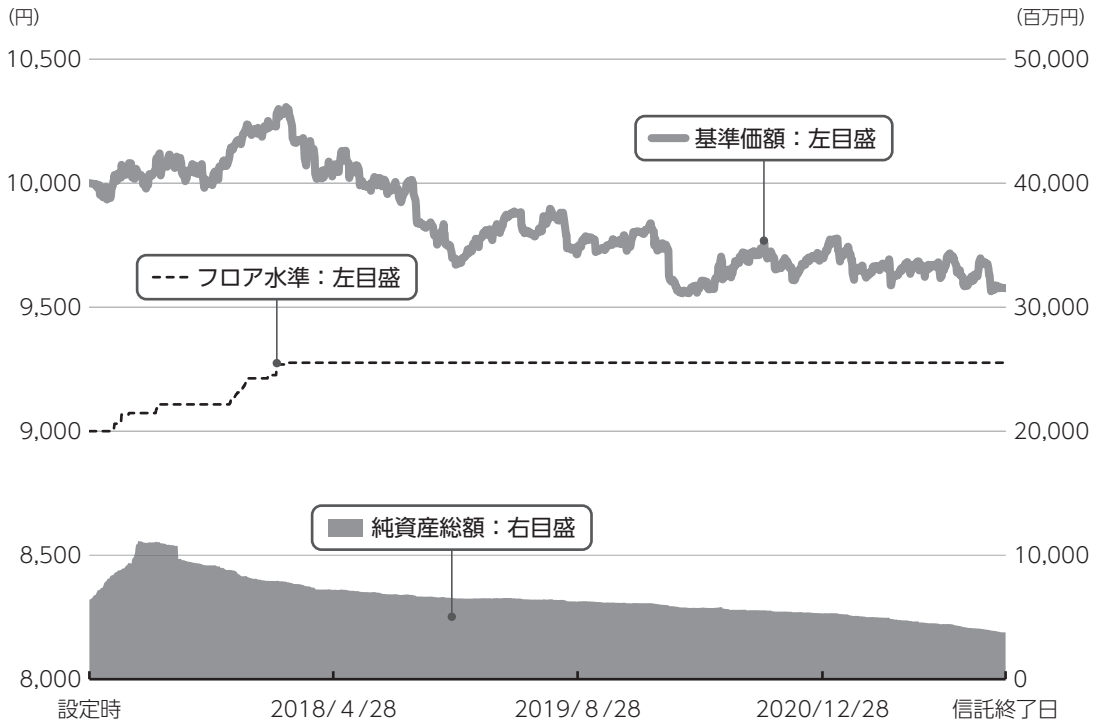
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第5期：2016年12月29日～2021年12月28日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



(注) フロア水準とは基準価額がこれを下回らないよう目標とする水準ですが、フロア水準の確保を保証するものではありません。

第1期首	10,000円
第5期末	9,576.38円
既払分配金	0円
騰落率	-4.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ4.2%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

先進国の株式市況が上昇したことや先進国の債券利回りが低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬等の運用管理費用などが、基準価額の下落要因となりました。

第1期～第5期：2016年12月29日～2021年12月28日

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国や新興国の株式市況は、信託期間を通してみると上昇しました。

2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルスに対する懸念から一時的に株式市況が下落する局面もありましたが、米連邦準備制度理事会（F R B）、欧州中央銀行（E C B）による金融緩和姿勢の継続や、バイデン米政権による経済政策への期待や、新型コロナウイルスワクチンの普及を背景とした経済正常化への期待などから、信託期間を通してみると上昇しました。

▶ 債券市況

先進国や新興国の債券利回りは、信託期間を通してみると低下しました。

2017年から2018年にかけてF R Bが利上げを行ったことから、債券利回りも上昇しましたが、その後はF R Bが金融緩和に転じたことなどから、信託期間を通してみると低下しました。国内の債券利回りは、ほぼ横ばいとなりました。

▶ 為替市況

信託期間を通してみると、円は米ドルに対しては上昇し、ユーロに対しては下落しました。

▶ 国内短期金融市場

コール・レート（無担保・翌日物）は0%前後で推移しました。

設定時から2016年1月までのコール・レートは、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、おおむね0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下のコール・レートは-0.018%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ スマート・プロテクター90（限定追加型）2016-12

当ファンドは、円建ての外国投資信託であるソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンドの投資信託証券への投資を通じて、短期金融資産（預金含む）および日本を含む世界各国の株式・債券等に実質的な投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行いました。

第5期（2020年12月29日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、償還に向け2021年12月に各投資信託証券の組入をゼロにしました。

▶ ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンド

ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンドにおいて、短期金融資産（預金含む）および基準価額とフロア水準の差に相当する部分（以下、「スワップ取引部分」ということがあります。）を、日本を含む世界の株式・債券等へ実質的に投資しました。

通常時においては、基準価額の変動幅の目処が年率上限4%となるように、スワップ取引部分の実質的な投資比率が純資産総額の最大60%となるように投資比

率の調整を行いました。一方、各市場の下落予想が示唆された局面においては基準価額の変動幅の目処が年率上限1%となるようにスワップ取引部分の実質的な投資比率を引き下げ、株式・債券等への実質的な投資比率を調整することで基準価額の下落をフロア水準までに抑えることをめざす運用を行いました。

第5期（2020年12月29日～信託終了日）は、上記の運用を維持し、償還に向け2021年12月に組入資産の資金化を行いました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

▶ 償還価額

▶ スマート・プロテクター90（限定追加型）2016-12

償還価額は、9,576円38銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2020年12月29日～2021年12月28日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	99	1.026	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(32)	(0.331)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(64)	(0.662)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	99	1.029	

期中の平均基準価額は、9,658円です。

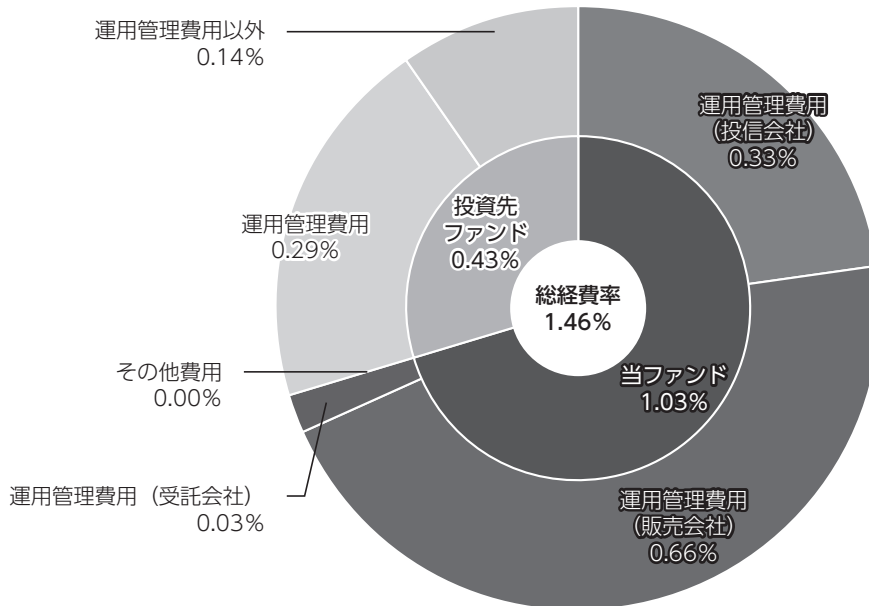
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.46%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.46
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.29
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.14

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年12月29日～2021年12月28日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンド	千口 6	千円 70,200	千口 512	千円 5,172,699

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 4,349	千円 4,428

○利害関係人との取引状況等

(2020年12月29日～2021年12月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年12月28日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	
		口数	金額
	ソフォス・ケイマン・トラスト・スマート・プロテクター90ファンド	千口 505	
合 計		505	

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 4,349

○投資信託財産の構成

(2021年12月28日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	3,804,892	100.0
	投資信託財産総額	3,804,892	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年12月28日現在)

項	目	償 還 時
		円
(A)	資産	3,804,892,104
	コール・ローン等	3,804,892,104
(B)	負債	27,987,112
	未払解約金	6,098,418
	未払信託報酬	21,826,205
	未払利息	1,533
	その他未払費用	60,956
(C)	純資産総額(A-B)	3,776,904,992
	元本	3,943,980,891
	償還差損金	△ 167,075,899
(D)	受益権総口数	3,943,980,891口
	1万口当たり償還価額(C/D)	9,576円38銭

<注記事項>

- ①期首元本額 5,477,422,287円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 1,533,441,396円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.957638円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は167,075,899円です。

○損益の状況

(2020年12月29日～2021年12月28日)

項	目	当 期
		円
(A)	配当等収益	△ 33,432
	受取利息	214
	支払利息	△ 33,646
(B)	有価証券売買損益	△ 32,056
	売買益	4,570,025
	売買損	△ 4,602,081
(C)	信託報酬等	△ 47,637,964
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 47,703,452
(E)	前期繰越損益金	△121,807,715
(F)	追加信託差損益金	2,435,268
	(配当等相当額)	(△ 2,426)
	(売買損益相当額)	(2,437,694)
	償還差損金(D+E+F)	△167,075,899

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年12月29日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年12月28日			資産総額	3,804,892,104円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	27,987,112円	
				純資産総額	3,776,904,992円	
受益権口数	6,431,298,550口	3,943,980,891口	△2,487,317,659口	受益権口数	3,943,980,891口	
元本額	6,431,298,550円	3,943,980,891円	△2,487,317,659円	1万円当たり償還金	9,576円38銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	7,739,910,410円	7,921,750,398円	10,235円	0円	0%	
第2期	6,735,117,257	6,513,788,495	9,671	0	0	
第3期	6,251,507,596	6,129,053,108	9,804	0	0	
第4期	5,477,422,287	5,311,637,133	9,697	0	0	

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	9,576円38銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。